

「総合力で未来創造に挑み続ける 博士人財育成プログラム」

Tokai-SPRING SACRA

公募説明会

事業統括 濱本 和彦
東海大学 副学長
情報理工学部 教授

April 21 2025 START. 17:15
CLOSE. 18:45

東海大学湘南校舎16号館505室

Tokai-SPRING SACRAの趣旨と概要

東海大学は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）による機関支援を受けて「総合力で未来創造に挑み続ける博士人財育成プログラム（Tokai-SPRING SACRA（Supporting Aspirational Career development and Research Activities））」を2025年4月より実施します。

日本の科学技術・イノベーションの将来を担う優秀な志ある博士課程・博士課程後期学生に対して、生活費相当額および研究費の両面から経済的支援を最大3年間行います。

高い専門性と広い見識を身に付けた博士人材を育成するための教育プログラムとして、海外派遣、キャンパス間派遣、インターンシップやトランスファラブルスキル開発のためのコンテンツを提供します。

アカデミア・産業界を問わず、世界規模で活躍する多様な人材創出の場となることを目標にします。

Tokai-SPRING SACRAが育成する人材像とプログラム



高い専門性と広い見識を身に付け、総合力で自然・人・地域・企業に内在する課題の抽出・克服に挑戦する志を有する人材を育くみ、産業界等で幅広く活躍するための素養を身に付ける。

経済的支援：

一人当たり年間282万円（生活費相当240万円、研究費42万円）
生活費相当月額20万円を指定口座に振り込みます。
雑所得として課税されるので確定申告が必要です。

キャリア開発・育成コンテンツ受講（必修および選択）：

海外派遣、キャンパス間派遣、アントレプレナーシップ、インターンシップ、
トランスファラブルスキル企画、キャリアパス開発企画、AI/IT講座、
日本語講座（留学生対象）などを受講するとともに、自身の研究に専念する。

東海大学以外の修士課程を修了する方もSACRAに応募可能：

東海大学大学院入学手続き済み、または大学院入学願書提出予定の方

Tokai-SPRING SACRA

Supporting Aspirational Career development and Research Activities

ー 東海大学のスケールメリットと総合力を活かした基礎支援と特色ある人財育成プログラム ー



自然・人・地域・企業に内在する課題の抽出と解決に挑戦し続ける博士人材の育成

公募要領（2025年秋期公募）をよく読み申請すること

公募要項補足

- ・東海大学特定助手および特定助手内定者がSACRAに応募することは可能だが、SACRAに採用された場合はSACRAと特定助手の併給は不可（特定助手を辞退）。
- ・独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の奨学金（貸与型）との併給は可能。
※但し、特に優れた業績による返還免除制度への申請は不可（JASSO規則）。
※独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の奨学金（給付型）との併給は不可。

参考：博士学生支援制度の比較

Tokai-SPRING SACRA	240万円/年	研究費42万円
日本学術振興会 特別研究員	240万円/年	科研費150万円以下
東海大学 特定助手	192万円/年	（年平均1～3コマ授業担当）

日本学生支援機構第一種奨学金（貸与） 96万円/年または146.4万円（博士・私学）

選考方法 書面審査と面接審査の2段階選抜で総合的に判断する。

①書類審査：応募書類一式をホームページからダウンロードすること。

[Tokai-SPRING SACRA 公募情報サイト | 一般 | Microsoft Teams](#)

[総合的支援 | 教育・研究ページ | 東海大学 - Tokai University](#)

<https://www.u-tokai.ac.jp/education-research/graduate/comprehensive-support/>

※なお、申請に際しては事前に指導教員に相談し、承認を得た上で応募すること。

②面接審査：書面審査通過者を対象として実施する。

メールで書面審査の採否および面接審査の日時を通知する。

地方キャンパス等にはZOOM等遠隔会議で行う。

※決定した面接審査日時の変更は、いかなる理由であっても受け付けない。

※面接審査で不採択となった者に対して、補欠採用を行うことがある。

審査の観点

①Tokai-SPRING SACRA事業の目的や内容の理解度

②研究計画（背景、目的、研究方法、研究計画、独創性・創造性など）

③これまでの研究成果（内容、論文、受賞など）

④自己分析（自身の強み、弱みなど）

⑤自身の研究成果・知識・技術が社会・地域課題解決にどのように還元できるか

⑥目指す人材像、10年後の自身の姿について

※ 書面審査・面接審査にあたっては、多様な専門分野の審査員が審査することから、理解しやすいよう分かりやすい表現で記載・発表を行うこと。

キャリア開発・育成コンテンツの概要(1/5)



4つの基礎支援 プログラム

- 重層的インターンシップ
- 海外研鑽(協定129大学)
- 博士のキャリア形成講義群
- 特定助手と連携した多層的キャリアパス開発

5つの特色ある プログラム

- 分野横断キャンパス派遣体験
- 地域課題抽出・解決ハッカソン
- 留学生教育・支援
- 全学IT/AI教育
- 博士オートポイエーシス

・重層的インターンシップ

- 採用期間中に1回以上の参加（必修）
- インターンシップの種類・期間とヒアリングにより達成度を測る

- ①ジョブ型研究インターンシップ事業（登録必須）
- ②櫛の会－東海大学経営者クラブ－
- ③各キャンパス（北海道・東京・神奈川・静岡・熊本）に隣接する協力企業群
- ④地域を限定しない東海大学大規模企業連合
- ⑤上記に限らず、自身が興味ある企業へのインターンシップ

キャリア開発・育成コンテンツの概要(2/5)

・海外研鑽(協定129大学):海外派遣プログラム(短期研修)

- ・採用期間中に1回以上の派遣(必修)
- ・計画書・報告書の採点およびヒアリングにより達成度を測る
- ・渡航費用(旅費・滞在費)は大学が補助する

グローバルな視野を持ち企業で活躍するためには、体験に即した文化多様性の理解が重要であることから、各国の歴史や教育システム、学術研究の動向とレベル、経済的競争力などを現地で調査する。異国での調査研究を通して、対人スキルを磨き国際的な共同プロジェクトに参加するための素養を習得する。

・博士のキャリア形成講義群

- ・採用期間中に1回以上の参加(必修)
- ・博士学生が作成したビジネスプランなどの評価
- ・ヒアリングにより達成度を測る

アントレプレナーシップ教育受講およびビジネススクール受講などにより、企業就職というキャリア選択について認識を深めることを目的とする。起業した学生や教員、技術者、ビジネス人材との交流の機会を提供する。イノベーション創出や経済的波及効果などに貢献することの意義と困難さを理解すると同時に自身の可能性を問う。企業とのマッチングイベントに参加する。※修了単位に認定されるものもある。

キャリア開発・育成コンテンツの概要(3/5)

・特定助手と連携した多層的キャリアパス開発

- 博士進学ガイダンスでの3制度（特定助手・SACRA・JSPS特別研究員）の説明
- 3制度の紹介リーフレット作成と配布
- 半年に1回のキャリア形成相談会
- 隔月の博士学生座談会
- 特別研究員制度申請支援（制度説明会・申請書書き方説明会・申請書査読）

博士オートポイエーシスなどの自己分析を通して具体化した自身のキャリアパスに合わせ、特定助手・SACRA・特別研究員への申請・採用中の切り替えを支援する。

・分野横断キャンパス派遣体験

- 採用期間中に1回以上の参加（必修）
- 派遣は2週間程度
- ヒアリングにより達成度を測る
- 渡航費用（旅費・滞在費）は大学が補助する

札幌または熊本キャンパスの実習場（養殖場や農場などの施設）で2週間程度の滞在期間中に、食や生物に関する特色ある先端研究について現地調査を行う。同時に、実習場にて技術職員の補佐として学生実習運営などを協働することで、専門分野にとられない幅広い知識と経験を身に付けることを目的とする。地方キャンパスの学生は、湘南や品川などの首都圏キャンパスへの派遣により、付置研究所や共同利用センターでの実習を行う。

キャリア開発・育成コンテンツの概要(4/5)

・地域課題抽出・解決ハッカソン

- ・ 採用期間中に1回以上の参加（必修）
- ・ 3～4週にわたるプログラム（2時間程度×3回（4回））
- ・ 報告書により達成度を測る

企業人・行政職員・本学教職員らと博士学生がチームを編成し、研究課題設定力の強化につながる課題抽出作業、抽出された課題を解決するための調査やディスカッションなどとりまとめを通じて、ラストパーソンとしての責任感を得るためにリーダーとしてチームを運営する。発表会にて成果を発表する。

・留学生語学教育・就職支援（留学生対象）

- ・ 日本語教育講義（各セメスター2単位相当）を受講（選択）
- ・ 毎セメスター開講
- ・ 日本語検定等により達成度を測る

留学生を対象とする日本語教育特別講座を提供する。受講生のレベルに合わせて初級、中級、上級コースを選択する。聞く・話す・読む・書くの4技能をはじめ、プレゼンテーションを学ぶ体制とする。留学生が日本国内での企業就職を希望する際に、博士学生支援室が中心となって支援にあたる。留学生向け企業マッチング会を行う。※修了単位に認定されない。

キャリア開発・育成コンテンツの概要(5/5)

・全学IT/AI教育（ただし汎用的内容）

- ・ 採用期間中に1回以上の参加（選択・必修）
- ・ 講義（2単位相当）を受講することで1回とカウントする
- ・ 毎セメスター開講
- ・ ヒアリングにより達成度を測る

昨今の情報社会に対応し、自らの専門分野と情報技術とを融合するための基礎知識を習得する。AIやデータサイエンスなどに関する基礎レベル講義を受講する。情報系に所属する博士学生は選択制とする（必修としない）。※修了単位に認定されない。

・博士オートポイエーシス（自己分析）

- ・ 毎年1回参加（必修）、1回は3時間程度×3日間
- ・ レポート・ヒアリングにより達成度を測る

本コンテンツは、博士人材が社会で活躍することの意義について自己分析をふまえて深く考察する機会を提供する。博士課程学生のキャリアパスに多様な可能性があることを認識できる機会とする。国・大学に集積した博士人材データを用いた自己分析や企業研究により、博士のアクティビティ強化を目指す。また、博士人材が、アカデミア以外の職に就き活躍するために必要な、他の分野でも活かせる普遍的な能力について考察し、博士学生のキャリア形成の一助とする。

東海大学SACRA事務局・Eメール sacra@tokai.ac.jp

＊詳細は、博士支援ページに掲載される公募要領を参照してください。

The background of the slide is a photograph of a paved path that curves through a park-like setting. The path is lined with large, mature trees whose branches are heavily laden with white and light pink cherry blossoms. The scene is captured in a soft, slightly hazy light, suggesting a spring day.

「総合力で未来創造に挑み続ける
博士人財育成プログラム」
(Tokai-SPRING SACRA) 公募説明会